

# 地方独立行政法人神戸市民病院機構 平成21年度決算概要



## 21年度の主要施策

### 【法人全体】

地方独立行政法人化、両病院の新体制での病院経営（4月～）  
 理事会、常任理事会によるPDCAサイクルの実施（4月～）  
 DPC対象病院への移行（4月～）  
 院長から各診療科部長・部門長へのヒアリングの実施（中央2回、西3回）  
 医療機器の新規導入、更新  
 （中央：新病院用システム開発等約7億円、西：MRI等約4億円）  
 育児短時間勤務制度の創設（10月～）  
 資格取得支援制度の拡充  
 （認定看護師手当等の創設、留学等の期間中の負担軽減など）  
 経験者採用の実施  
 優秀職員表彰の実施  
 新型インフルエンザへの対応

### 【中央】

新病院建設工事の推進（着工：平成21年3月、完成予定：平成23年3月）  
 地域医療支援病院の承認（12月承認、1月～加算取得）

### 【西】

救急総合診療部、地域医療推進課の新設（10月～）  
 外来化学療法センターの増設（3月～運用）

## 資金収支

20年度 実績	21年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
12.4億円	0.6億円	14.1億円	1.7億円	14.7億円

## 損益

20年度 実績	21年度		前年度比	目標比
	目標	実績		
3.3億円	7.3億円	30.2億円	26.9億円	22.9億円

21年度は、効率的な病床運用や手術枠・診察枠の運用見直しによる新規患者や手術件数の増加などに伴い、大幅な増収となり、目標を大きく上回る結果となった。22年度においても引き続き単年度資金収支の黒字をめざす。

## 財務諸表の概要

### 【貸借対照表】

平成22年3月31日現在の法人の資産・負債・純資産の状況を表示

（資産の部）		（負債の部）	
固定資産	396.2億円	固定負債	294.6億円
流動資産	147.0億円	流動負債	153.6億円
		小計	448.2億円
		（純資産の部）	
		資本金	53.3億円
		資本剰余金	11.5億円
		利益剰余金	30.2億円
		小計	95.0億円
計	543.2億円	計	543.2億円

### 【損益計算書】

平成21年度の法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	378.8億円
営業収益	366.5億円
営業外収益等	12.3億円
費用総額	348.6億円
営業費用	333.3億円
営業外費用等	15.3億円
当期純利益	30.2億円
当期総利益	30.2億円

当期総利益の30.2億円は、積立金として整理する

### 【キャッシュ・フロー計算書】

平成21年度の現金・預金の増減を、活動区分別に表示

業務活動によるキャッシュ・フロー	21.2億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	40.0億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	58.0億円
資金増加額	39.2億円
資金期首残高	40.1億円
資金期末残高	79.3億円

資金期首残高40.1億円は、神戸市出資金27.8億円を含む（実質12.3億円）

資金期末残高79.3億円は、新病院建設工事に係る企業債収入の前受け69.5億円を含む（実質9.8億円）

### 【行政サービス実施コスト計算書】

納税者が実質的に負担しているコスト（行政サービス実施コスト）を表示

業務費用	26.8億円
(1) 損益計算書上の費用	348.6億円
(2) (控除) 自己収入等	321.8億円
機会費用	0.9億円
行政サービス実施コスト	27.7億円

機会費用は、神戸市出資金27.8億円を法人が利用したことに伴う納税者から見た逸失利益を表す